

第31回資金管理業務諮問委員会 議事概要

1. 日時：2009年9月15日（火）14時05分～16時00分
2. 場所：財団法人自動車リサイクル促進センター 第1・第2会議室
3. 出席者：永田委員長、鬼沢委員、小島委員、辰巳委員、細田委員、米澤委員
4. 議題：①平成21年度第1四半期（4～6月）決算報告について
②平成21年度第1四半期の運用の評価について
③資金管理料金の11年展開について
④輸出返還事務センターに係る入札仕様書等作成の支援事業者の選定結果について

5. 議事概要

※ 本議事概要では委員の主な意見、決定事項を中心にまとめており、資料に関連する質疑については後日、議事録を公表いたします。

（1）議題①について

平成21年度第1四半期の決算報告について、資料3-1から資料3-7を使用して事務局から説明。案のとおり了承された。
委員からは次のような意見があった。

<意見> （注）○は委員、●は事務局

- 輸出返還台数が減少しているのは輸出台数が減少しているためであるが、その理由は何か。
- 主としてロシアの輸入規制によるものと推測される。
- 国内の使用済自動車の引取状況はどうなっているか。
- 前年度並みの水準に戻っている。

（2）議題②について

平成21年度第1四半期の再資源化預託金等の運用評価について、資料4-1、4-2を使用して事務局から説明。案のとおり了承された。
委員からは次のような意見があった。

<意見> （注）○は委員、●は事務局

- 従来は格付け制限のある債券を財投機関債・地方債・社金債に細分化して取得していたが、今年度から格付け制限あり債券に統合したことによって、現在は支障なく円滑に取得している。
- 別添資料ラダー型資産構成目標イメージの図に、保有債券年限別がどのような債券種別で構成されているかも示せないか。

- 別添資料は年限別のラダー構築状況を示すことを目的として作成している。年限別の債券種別構成は次回諮問委員会から別資料として提出することを検討する。

(3) 議題③について

資金管理料金の11年収支均衡計画について、資料5-1、5-2を使用して事務局から報告した。

委員からは次のような意見があった。

<意見> (注) ○は委員、●は事務局

- システム保守費が計画に対してかなり大きくなった理由は何か。
- システム構築のときのイニシャルコストが、当初見込みよりかなり大きくなったことによるもの。
- システム保守費が、今後どれくらいかかるか示してほしい。
- 担当部において精査する。

(4) 議題④について

輸出返還事務センターに係る入札仕様書等作成の支援事業者の選定結果について、資料6を使用して事務局から報告した。

委員からは次のような意見があった。

<意見> (注) ○は委員、●は事務局

- 輸出返還事務センターに係る入札についての説明責任を担保するためには必要なこと。
- 他にもどのような業務をアウトソーシングしているのか整理してほしい。
- 検討する。

以上